

休日夜間診療所の開設等に係る財政支援について

【担当省庁】総務省、厚生労働省

市町村における取組

(現状・課題)

現在、本市における休日診療及び夜間の小児救急体制は、葛城地区3市1町（香芝市、大和高田市、葛城市及び広陵町。以下同じ。）で実施する葛城地区休日診療所及び橿原市休日夜間応急診療所（以下、「休日夜間応急診療所」という。）にて対応し、休日診療及び夜間の産婦人科一次救急医療体制は奈良県との連携により対応している。また、葛城地区3市1町で休日診療及び夜間の二次救急輪番体制や奈良県が小児二次輪番病院体制を構築することで更なる地域医療の充実を図っているところである。

このような取組により、地域医療の維持及び向上に努めているが、本市から休日夜間応急診療所までの距離は遠く、往復の所要時間は長い。子育て世帯が多く居住し、今後においても子育て世帯を中心に選ばれる街として発展させ、人口増加を目指す本市においては、休日夜間応急診療所等の新たな設置については、関係機関との連携を図りながら検討すべき重要な課題であると考えており、近隣自治体を含めた医療体制の継続的かつ安定的な体制の確保にも資するものと思料する。

年齢3区分別人口 (%)

令和4年	年齢区分		
	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
香芝市	14.5	60.9	24.6
奈良県	11.4	56.3	32.4
全国	11.6	59.4	29.0

(出典) 香芝市及び奈良県データ：奈良県推計人口年報
 全国データ：総務省統計局人口推計 (小数点第2位以下四捨五入)

出生率

	香芝市	奈良県	全国
令和4年	7.3	5.7	6.3

(出典) 香芝市及び奈良県データ：奈良県人口動態統計
 全国データ：厚生労働省人口動態統計

合計特殊出生率（一人の女性が生涯で生む子どもの数）

	香芝市	奈良県	全国
平成30年から令和4年まで	1.53	1.30	1.33

(出典) 平成30年～令和4年 人口動態保健所・市町村別統計の概況

葛城地区休日診療所受診者数

	受診者 (人)	香芝市 (人)	%
令和5年度	6,863	1,887	27.5
令和4年度	2,913	811	27.8
令和3年度	2,153	613	28.5

橿原市休日夜間応急診療所受診者数

	中南和市町村 小児深夜診療 受診者数 (人)	香芝市の小児深 夜診療受診者数 (人)	%
令和5年度	1,061	138	13.0
令和4年度	799	115	14.4
令和3年度	606	81	13.4

国にお願いすること

市単独の予算による休日夜間応急診療所等の新たな設置については、財政的な負担が非常に大きく、また医療体制の継続的かつ安定的な体制確保が必要であることから、国には設置に関する経費及び経常経費に対する支援（交付税措置の更なる拡充及び補助金の新設や対応範囲の拡充）についても強く要望する。

【担当部署】 香芝市健康衛生課